

平成21年度 お茶の水女子大学経営協議会（第3回）議事要旨

日 時：平成22年1月25日（月）15：00～17：00

場 所：お茶の水女子大学 大学本館2階 第一会議室（213室）

出席者：（学外委員）足立委員、阿部委員、池田委員、生駒委員、小野委員、
北村委員、關委員

（学内委員）羽入学長、江澤理事、戒能理事、耳塚理事、河村理事、
近藤副学長、吉田副学長

（その他）桐村監事、山田監事、村田財務室長、最上総合評価室長

1. 開会

2. 前回〔平成21年10月13日（火）〕議事録（案）の確認

○修正等がある場合は、平成22年2月1日（月）までに、企画チームまで連絡することとした。

3. 審議事項

（1）第二期中期目標原案・中期計画案について

○総務機構長より、先に文部科学大臣宛提出を済ませた、第二期の中期目標・中期計画に係る「素案」に対して修正を施した変更案について、【資料3】に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

（2）平成22年度学内予算編成方針（案）について

○学長より、平成22年度学内予算編成方針（案）について【資料4-1】及び【資料4-2】に基づき、その目的や趣旨等について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

（3）平成20事業年度決算剰余金の繰越について

○総務機構長より、平成20事業年度決算剰余金を目的積立金とすることについて、【資料5】に基づき説明があり、審議の結果、文部科学大臣の正式な承認が得られた場合という前提の上で、使途も併せて、原案のとおり承認された。

（4）資金運用規程の改正等について

○総務機構長より、運用にあたり必要な事項について平成21年2月に定めた、「国立大学法人お茶の水女子大学資金運用規程」の改正案（【資料6-2】）及び同規程の改正によりあらたに定めることになった、「国立大学法人お茶の水女子大学資金運用委員会規程（案）」（【資料6-3】）について、【資料6-1】等に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

4. 報告事項

(1) 国立大学協会臨時学長等懇談会(22.1.8開催)について

○学長より、平成22年1月8日に開催された、「国立大学協会臨時学長等懇談会」の内容について、【資料7-1】及び【資料7-2】に基づき報告があった。

(2) 平成22年度運営費交付金内示の概要について

○総務機構長より、平成22年1月6日付で文部科学省より最終的な内示があった、平成22年度運営費交付金内示の概要について、審議事項(2)「平成22年度学内予算編成方針(案)」の審議の冒頭に、【資料4-3】に基づき報告があった。

(3) 平成20年度に係る業務の実績に関する評価の結果について

○総務機構長より、平成21年11月6日付で国立大学法人評価委員長から通知があった、平成20年度に係る業務の実績に関する評価の結果について、【資料8】に基づき報告があった。

(4) 大学評価・学位授与機構による認証評価に係る訪問調査について

○総務機構長より、平成21年11月30日から12月1日にかけて実施された、大学評価・学位授与機構による認証評価に係る訪問調査について、【資料9】に基づき報告があった。

(5) 学寮整備の進捗状況について

○教育機構長より、学寮整備の現時点における進捗状況等について、【資料10】に基づき報告があった。

(6) 予約型奨学金制度（案）について

○教育機構長より、現在検討している、あらたな奨学金制度について、【資料11】に基づき報告があった。

(7) 競争的資金等の受入状況について

○国際・研究機構長より、競争的資金等の受入状況について、【資料12】に基づき報告があった。

(8) 本学における最近の主な活動について

○学長より、本学が最近開催したシンポジウム・講演会等のイベントや、各種受賞についてまとめた、【資料13】について報告があった。

(9) その他

○学長より、前回の本協議会における「自由討議」の際に話題となった、平成21年1月に実施した【卒業生・修了生のライフコースに関するアンケート】結果に関する概要について、【資料14】に基づき報告があった。

5. その他

(1) 平成21年度お茶の水女子大学経営協議会開催予定

○学長より、次回の開催予定について、【資料15】に基づき説明があり、平成22年3月15日(月)15時からであることを確認した。

■ 学外委員からの主な意見は以下のとおり。

○学寮整備について

・「リベラルアーツ教育」という軸で各寮の役割を定義して、アピールする必要がある。いわゆるカレッジ的な教育について、検討してほしい。

・留学生の受け入れ体制、特にアジア地域からの受け入れをどのように考えているのか。それに応じて、寮的な施設も必要になってくるであろうし、そのような面からの全体像についても、明確に示してほしい。

・留学生のお茶大卒業生のネットワークを作っていって欲しい。その国におけるお茶大のパブリシティにもなるし、次なる有用な人材の送り出しにも繋がる。

○奨学金制度について

- ・奨学金を単なる生活費として授与するだけでなく、付加価値を付けて学生のエンカレッジメントに繋がるようなシステムを作ってほしい。

以 上